

「完全学校週5日制」と 中学生

～のんびりと朝寝ができる土曜日～

「完全学校週5日制」が実施されて1年が過ぎた。欧米の学校では昔から5日制が実施されているが、特に混乱はない。そうだとすれば、日本で「完全学校週5日制」になっても問題がないように思うが、慣れていないせいか、混乱が感じられる。そうした状況を生徒がどう感じているのか。中学生に尋ねてみた。

調査概要

対 象 東京都・千葉県・埼玉県の中学校6校の1～3年生
時 期 2002年11月
方 法 学校通しによる質問紙調査
サンプル数 1,721名（男子886名、女子835名）

TOPIC 1

土曜日の休みはうれしい

(⇒p.20・22・27・30)

図1 土曜日が休みになったことをどう思うか

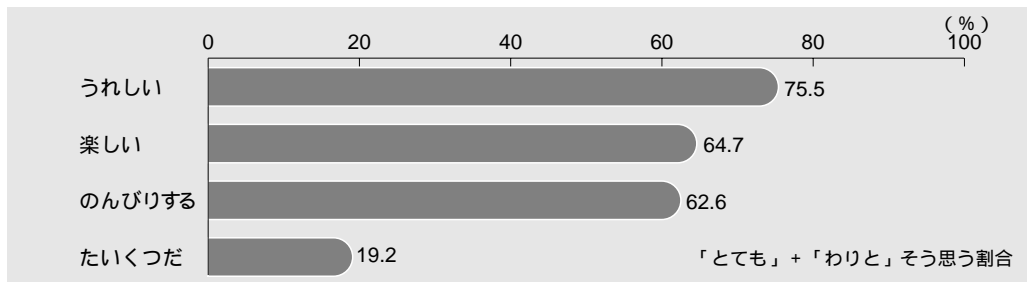


図2 土曜日の楽しさ × 学年

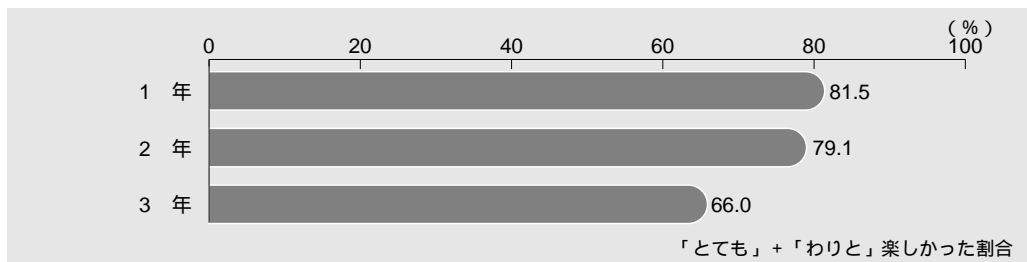


図3 土曜日も、学校があった方がいいと思うか



表1 親は「完全学校週5日制」をどう思っているか

賛成している	賛成している	反対している	反対している	わからない
9.1	30.4	22.2	5.6	32.7
39.5		27.8		

(%)

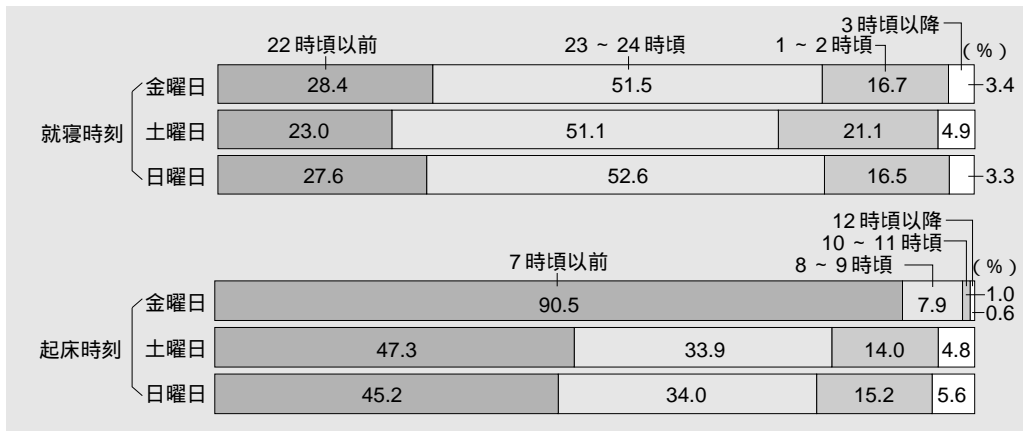
「完全学校週5日制」の導入に伴って、すべての土曜日が休みになった。「学校が休みになった」ことへの生徒たちの評価は、「うれしい」(75.5%)、「楽しい」(64.7%)、「のんびりする」(62.6%)である(図1)。しかし、学年が上がるにつれ、土曜日の休みを喜ぶ割合が減少する(図2)。「土曜日も、学校があった方がいいと思うか」についても「ない方がよい」(「できれば」+「絶対」)の回答が75.2%に達する(図3)。また、生徒たちによれば、親は「完全学校週5日制」について賛成(「とても」+「たぶん」)が4割、反対(「たぶん」+「絶対」)が3割弱と感じている(表1)。

TOPIC 2

先週の土曜日はゆっくりと寝た

(⇒p.17 ~ 18)

就寝・起床時刻 × 曜日



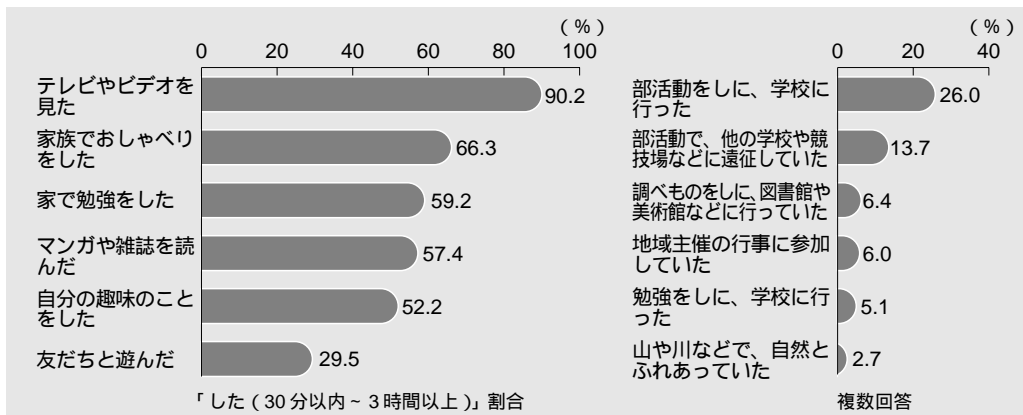
生徒たちは土日をどのように過ごしているのか。先週の生活時間を尋ねたところ、中学生の就寝時刻は金・土・日曜日はそれほど変わっていない。しかし、起床時刻は土日になると、8 時頃以降が 5 割強となり、そのうち 10 時頃以降まで寝ている生徒は、約 2 割いる。「土日はゆっくりと寝られる」という感じになる。

TOPIC 3

土曜日はのんびり過ごす日

(⇒p.20 ~ 21)

土曜日にしたこと



生徒たちは土曜日をどう過ごしているのか。「勉強をしに、学校に行った」生徒は 5.1%、「部活動をしに、学校に行った」生徒は 26.0%で、多くの生徒は家で 1 日をのんびりと過ごしている。

TOPIC 4

自分の時間が持てた

(⇒p.22 ~ 24)

土曜日の使い方の変化

		(%)		
	変わらない	増えた (とても+わりと)	減った (とても+わりと)	差 (増えた-減った)
自分の趣味の時間を する時間	37.3	55.1	7.6	47.5
いろいろなことを考 える時間	48.5	45.5	5.9	39.6
自分で勉強する時間	50.6	43.2	6.2	37.0
親と過ごす時間	45.9	45.1	9.0	36.1
部活動をする時間	45.6	42.9	11.5	31.4
睡眠時間	35.2	44.6	20.2	24.4
1人でボーっとする 時間	58.4	30.1	11.5	18.6

土曜日が休みになって、趣味をする時間が増え、いろいろと考える時間が増したと生徒たちは感じている。

TOPIC 5

学校生活はゆとりがなく忙しくなった

(⇒p.24 ~ 25)

「完全学校週 5 日制」による学校生活の変化

		(%)			
	どちらとも いえない	そう思う (とても+わりと)	そう思わない (あまり+ぜんぜん)	差 (そう思う- そう思わない)	
「 そう思う」 割合の 高い項目	行事の準備のための時間が 少なくなった	41.1	45.5	13.4	32.1
	月曜日は、何となくだるい	18.8	56.4	24.7	31.7
	授業の進み方が速くなった	37.1	42.4	20.4	22.0
	月曜日に学校に行くのがつらい	20.1	50.7	29.1	21.6
「 そう思わ ない」 割合の 高い項目	勉強が楽になった	44.4	12.9	42.6	- 29.7
	友だちと遊びにくくなった	37.1	17.1	45.8	- 28.7
	先生と話す時間が減った	57.3	8.4	34.3	- 25.9
	先生が疲れているようだ	46.9	21.6	31.5	- 9.9
	宿題が増えた	47.0	21.7	31.3	- 9.6

「完全学校週 5 日制」になって、学校生活がどう変わったか。生徒たちによれば、授業の進度が速くなり、行事を準備するための時間が減って、学校生活にゆとりがなく、忙しくなった。それと同時に、土日が休みなので、月曜日の登校がおっくうになったという。

TOPIC 6

部活動派・エンジョイ派・家族派

(⇒p.42 ~ 44)

それぞれの土曜日の過ごし方

	部活動派	エンジョイ派	家族派
5:00	ねている	ねている	ねている
5:30		ごはん(1人)	
6:00		身じたく	
6:30	起床・朝食		
7:00	身じたく	2度寝をする	
7:30	出発(他校に)		
8:00	C中で、バレーの練習試合		
8:30			
9:00		1人で音楽をきいたり、マンガ・雑誌を読んでいた	おきる
9:30			テレビとみんなでごはん
10:00			
10:30			
11:00			内科へ母と
11:30		昼食	
12:00	昼食	遊びに行く身じたく	
12:30			お店に母と
1:00	バレー部の練習試合	友だちとショッピングセンターとレジャランとカラオケに行って遊んでた。2人で	帰宅
1:30			みんなでごはん
2:00			貸衣装屋さん
2:30			
3:00			ケーキ屋さん(予約)
3:30			
4:00			スーパーマーケット(全部母と)
4:30	帰宅		
5:00	ピアノ		
5:30	家族みんなで、外食	夕食	
6:00		TVと音楽とマンガを読んでいた。部屋で1人で	みんなで夕食
6:30			
7:00	1人でテレビを見ている		テレビ
7:30			
8:00		ねてた。部屋のこたつ	
8:30			
9:00	お風呂に入る		お風呂に入る
9:30	ねている		テレビ
10:00			
10:30		お風呂に入る	ねている
11:00			
11:30		部屋で音楽きいて、友だちとメールしてた	
12:00			
12:30		音楽をききながらねた	
1:00			
1:30			
2:00			
2:30			
3:00			

土曜日の過ごし方を細かく記述してもらった。その結果によると、「勉強派」「だらだら派」を除き、土曜日を活動的に過ごしている層として、部活動をしている「部活動派」、ゲームやカラオケ、街をブラブラする「エンジョイ派」、家族と時間を過ごす「家族派」とに三分された。

まとめ

～重要性が高まる土曜日の活用法～

「完全学校週5日制」が実施されて、生徒たちは土曜日の休日を歓迎している。そして、生徒たちは土曜日をのんびりと過ごせるようになった。その反面、月曜日から金曜日までの学校は忙しくなったと評価している。

あわただしい5日間と、ゆったり2日間。「完全学校週5日制」は、こうした状況の到来を目的として実施されたのであろうか。日曜日のんびりするのはいいと思うが、週に2日のんびりする必要はないように思う。そうだとすれば、土曜日の活用が重要になる。

本報告書の「まとめに代えて」(p.45～47)でふれるように、「完全学校週5日制」に対する地域ごとの試みはあまり効果を上げていない。部活動の充実を図るのか、それとも、地域と連携して、何かの活動を展開するか。あるいは、学校での学習を考えるのか。地域ごとに土曜日の活用に焦点をしばって、対策を講じる必要があるだろう。

以下、分析では「完全学校週5日制」を「学校5日制」と表記する（見出しを除く）。